



このまちで
つくり出す
違いを超えていく出会い

profile 昭和48年10月
13日生まれ。伊達市出身。

「障がいがある人との接し方を考え、伝えることでまちは変わる」。長年、開催に携わる知人の言葉が記憶に残っています。「まちの人との距離感が少しでも縮まってほしい。今回、親だけでなく子どもも参加してくれたことがうれしいです」。新しい世代が見せてくれた今までの違う景色は、障がいは少しの違いでしかないことを、まちに伝えてくれました。

東奔西走

スマートフォンを活用して行われた今回の防災訓練。一時集合場所で取材に協力してくれた方から改善のアイデアもいただきました。課題を解消してより安全な避難方法を町全体で考えていきたいです。(D.Y)

11年ぶりの5連休となった今年のシルバーウィーク、皆さんはどのように過ごされましたか？私は連休初日にエスコンフィールドでファイターズ戦を観戦してきました。生で見る試合は見ごたえがあり楽しかったです！(M.O)

Spotlight

スポットライト



いけまぜ in とうやこ呼び掛け人

臼井 清美 さん

今夏、町内で行われ、2日間延べ1200人以上が集まった「いけまぜ夏フェス」。障がいの有無に関わらず共に混ざり合って生きていける社会を目指す、との理念を実現するため、30年近く前に札幌で始まったこのイベントが町で行われたのは初めて。「良い出会いがあった人が一人でもいてくれたら」と、呼び掛け人を務めた臼井さんは振り返ります。

長男の勝也さんには先天性の疾患がありました。検査を受けた病院で出会ったのが、いけまぜを始めた小児脳神経外科医の高橋義男さん。臼井さんも2000年ごろから全道各地でいけまぜに参加するようになり、多くの親子と交流を重ねてきました。

町での開催の前に、高橋さんから呼び掛け人を頼まれました。親と障がいがある子が一緒に出かけて何かを楽しめる場所は少なく、いけまぜは「親も楽しみにしている場所」。何ができるのか、迷いながらも引き受けました。

町公式LINEを友だち追加！

イベントや防災など様々な情報に加え、フルカラー版広報紙もご覧いただけます！

